

目的 前報では 入浴時間(5,10,15分)を変化させ、ヌードにおける出浴後の皮膚温変動について検討した。その結果 入湯部位皮膚温は入浴により湯温に支配され上昇し出浴で一定時間急速に低下し、その後 徐々に回復するが 入浴時間により異なった変動が認められた。また 快適な入浴時間は約8分までであった。そこで本報では 入浴時間を10分と一定にし 出浴後の処理, 装着時間を変化させ 生理的反應について検討した。

方法 被験者は成人女子4名。環境気温 $26 \pm 2^{\circ}\text{C}$ 。実験期間 7月~9月。湯温 $41 \pm 1^{\circ}\text{C}$ 。浴槽中に肩位まで入湯。出浴後 以下の条件で60分間の椅座安静を保った。Nd-乾布拭き取りヌード, Nw-拭き取らずヌード, Co-乾布拭き取り直後綿長袖ワンピース装着, C20-乾布拭き取り20分後装着。測定項目は 直腸温, 皮膚温(入湯部位:8部位, 非入湯部位:2部位)衣服内温湿度, 温冷感, 快適感, 脈拍, 体重減少量である。

結果 出浴後の各部位皮膚温は 入浴前の安静時皮膚温以下に下降した後 回復上昇を始める。平均皮膚温は 装着に比べ、ヌードが著しく下降し 回復時間はNdに比べNwは遅れるが 回復上昇率はNd, Nwとも同様な傾向を示した。Coでは 徐々に下降上昇し 温度変動幅が小さい。C20では 装着まではNdと同様に下降し 装着により一過性の上昇を示した。最大低下量は $C_o < C_{20} \approx Nd < Nw$ の順である。出浴後60分時点で CoとC20は入浴前皮膚温に回復し NdとNwでは完全な回復はみられなかった。直腸温と体重減少量には条件間の差はみられなかった。温冷感, 快適感 脈拍について Co, C20, Ndに比べ Nwは温冷感がやや涼しい側に 快適感がやや不快側に移行し脈拍は少ない傾向であった。